


# まほろば秦野通信

平成29年8月8日  
秦野市市長公室広報課

タイトル	うりゅうのひやくはつたい <b>瓜生野百八松明（昭和50年8月22日市指定重要文化財に指定）</b> <b>瓜生野盆踊り（昭和52年7月16日市指定重要文化財に指定）</b>
When (いつ)	8月14日(月曜日) 荒天の場合は15日(火)に順延 ・午後7時～ 権現山山頂で松明点火（瓜生野百八松明開始） ・午後8時 瓜生野百八松明終了、瓜生野盆踊り開始 <b>駐車スペースに限りがあるため、取材していただける場合は事前に広報課へご連絡ください。午後6時半に広報課にお集まりいただき、現地までご案内いたします。</b>
Where (どこで)	瓜生野百八松明：権現山山頂～龍法寺(南矢名 1533)門前 瓜生野盆踊り：南矢名上部町内会館(南矢名 1745-2)前広場
Who (だれが)	瓜生野百八松明保存会（藤澤健一会長） 瓜生野盆踊り保存会（小泉 恵美子会長）
What (なにを) How (どのように)	開催当日の午後3時から、保存会の手で 麦わらを使い長さ2～3m・直径 30cmの松明50～60本を作ります。 この松明を権現山山頂に運び、日の沈む のを見計らい、積み上げた焚き物（麦わら の山）に点火し、その火を松明に移します。 それを法被を着た保存会の子どもたちを先 頭に、火のついた松明を担いで下山。30分ほどかけて麓の龍法寺門前に着く と大きく松明を振り回します。残り火が勢いを増し、燃え上がったり、火の粉 が飛び散ったりする勇壮な舞は圧巻です。 百八松明が終了すると近くの南矢名上部町内会館前広場では、江戸時代から 伝わる瓜生野盆踊りが始まり、女性たちによって「若松様(手踊り)」「ささら舟 (手拭いを持って)」「おちょこちょいのちょい(扇を持って)」の3種類の踊りが 披露されます。 
Why (なぜ)	南矢名地区で江戸時代中期から続く「瓜生野百八松明」は、五穀豊穰、悪疫 退散を祈願する盆の行事。明治23年に伝染病が流行し、数人の死者が出たた め1年だけ中止になった以外、数百年も地域住民の手で続けられています。
過去の実績	以前は、8月14日と15日の両夜に行われていましたが、最近では麦わら 集めが難しくなったため、平成10年からは、14日だけの開催となっていま す。
問い合わせ	教育部生涯学習課文化財担当（桜土手古墳展示館内） 担当：細井 電話0463（87）9581